

府高退教通信

NO.218

発行
〒543-0021

大阪市天王寺区東高津町七十一
府教育会館7F 大阪府高教内
大阪府立高等学校
退職教職員の手

TEL 06-6768-2106
FAX 06-6768-1675

米朝首脳会議は世界史の転換点、 九条精神を北東アジア全域に

飯田光徳（守口東）

4月の南北首脳会議の実現、さらには歴史的な米朝首脳会議が6月シンガポールで開催された。戦争から平和へと大きく舵が切られた。

米朝会談では「非核化」ばかりが目されたが、北朝鮮の核保有問題は北東アジアの平和、安全保障上の歪みである。

北東アジアの平和を足に例えよう、窮屈な靴を履き、変な姿勢で歩き続けたら、マメやタコができ、外反母趾になってしまった。そのマメやタコ、外反母趾こそが『核兵器を持ってしまった』ということ。無理やりそれだけ取り除いても、靴や姿勢を修正しなければ、また歪みは生まれる。また核武装化ということだ。だからこそ窮屈な靴の修正、変な姿勢の修正、つまり北東アジアの平和構築が求められている。

その歪み、元を辿れば日本の戦前の朝鮮半島の植民地支配に行き着く。日本政府は悠長に「対話のための対話は意味がない」などと言ってきたが、そんな対岸の位置に日本はいるのではない。直接の当事者である。韓国とは一応の戦後処理は行われてきた。しかし北朝鮮との間では全くできていない。今、日本が積極的に朝鮮半島の平和構築に関わり、戦後処理、国交の樹立、

拉致被害者の調査返還等の課題と核・ミサイル問題を包括的に解決することが求められる。そう考えると、今年に入ってから安倍首相の大軍拡発言、すなわち陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」、攻撃型空母、巡航ミサイルなどの導入や防衛費の大幅増は日朝会談の大きな障壁となりかねない。

北東アジアの平和の気流に日本もしつかり乗り、それをリードしたいものだ。その点では9条を守り発展させる運動が重要だ。9条精神を北東アジア全域に拡散する草の根からの運動をひき続き展開しよう。

安倍政権による 放送法改悪を許さない

佐々木有馬（堺西）

今年3月、突如として「政治的公平」などを定めた放送法4条撤廃を政府内で検討されていることが報道されました。NHKについては撤廃の対象としないとされていますが、この4条の規定は戦前の放送事業の教訓をふまえて確定された原則で、放送事業者が自らを律する倫理規定というのが学界、放送現場で定まった考えです。

58回府高退教囲碁大会のご案内

恒例の夏の囲碁大会です。地震に大雨と、自然の力を痛感するこのごろですが、人間力を鍛えるためにもがんばりましょう。お誘いあわせのうえ気楽にご参加ください。

記

日時：8月30日（木）12：30受付開始

13：00対局開始

場所：上六教育会館 7F 705号室（府高教書記局前）

参加費：1000円

対局方式：ハンディ戦 コミは6目半

敗者戦あり（2敗すれば失格、その後は自由対局）

優勝、準優勝、敢闘賞、奮闘賞などの賞品あり。

申込：次のいずれかの方法でお申し込みください

8月27日（月）までに『通信』題字下の府高退教事務局宛に、氏名・段級位・退職時勤務校をご記入の上、ハガキまたはFAXで府高退教（06-6768-2106）もしくは畠田の携帯電話（08040102619）にお申し込みを。
世話人 畠田博司（0725-21-5376）
土田里見（079-775-5221）

第210回「短歌を楽しむ会」（18・7・9）

参加者四人。出稿は十二人二十五首。暑い日ですが、冷房の効くガットネロで温かい紅茶とレモンクッキーをいただきながらの会でした。ティーカップはヨーロッパの名器、13世紀の器もありました。

七歳の姪に慕われる「秀ちゃん」が結婚しました四十五歳 高橋貞雄
みちにくの民家の庭にみつれたり「都忘れ」の三株ばかりを 川上憲一
班長さん出たかと尋ねればもう出ているよ別の子が言う 月岡秀夫
流行語ピンピンコロリ身に染みて感じる日来る時期天任せ 池永孝
七夕に「おねがい」とのみ書きし娘が今看護の職に勤しむ 五百蔵光彦
6・23女子学生の詩を聞き屋良氏との握手脳裏に浮かぶ 松田皓平
根来寺の大門前に佇みて僧兵たちの戦を思う 佐々木有馬

少し濃くナシヨナリズムの味付けしこの惑星わかせるワールドカップ 大嶋信次
五月闇雨音しるき夜半なれば華橘の香ぞしのびよる 川崎康樹
カエル跳ぶ波紋の青空ゆらゆらと君の行く畦夏匂い立つ 鈴木晋司
いいニュースいやなニュースが混ざり合う昭和平成おもしろい時代 福谷美智子
看病でつかれし朝のゴミ出しは「にいちちゃんごめん」と寝間着で渡し 山尾邦子

次回第二十一回の「楽しむ会」は、九月十日（月）二時から教育会館ななめ向かいのガットネロで行います。歌稿は九月三日までに左記宛、ハガキ・FAX・メールなどでお送り下さい。
〒583-0024 藤井寺市藤井寺二丁目6-17 山尾邦子
tel・fax 072-954-8524 mail kunchang25@outlook.jp

放送法4条は本来の 放送の役割をうたう

政府の検討内容が明らかにするや放送界から、4条は「本来の放送の役割をうたった条文だ」と撤廃には根強い反発が、また安倍政権支持の論調が目立つ読売が「批判報道に不満か」など否定的な見出しを付けました。更に各地の視聴者団体からは撤回申し入れや抗議声明が発表されました。

「4条撤廃」は見送られたが監視の闘いを

こうした中、政府の規制改革推進会議は6月4日安倍首相に改革案を答申し、注目された「4条撤廃」などが見送られました。民間放送連盟はこの答申を評価するコメントを出しましたが、

新聞は「これからも監視を怠ることはできない（朝日6/8）」、「安倍政権が続く限り再浮上も」（毎日6/4）と報じています。二〇〇一年一月安倍官房副長官（当時）がNHK番組『戦時性暴力』を敵視し、放送総局長らに注文をつけ、NHK幹部の指示で加害兵士の証言部分がカットされるといふ番組改ざん事件が起きました。森友・加計、自衛隊日報、働き方改革問題などウソ、隠ぺい、改ざんを行って何の反省もなく国民を欺き国会を混乱させ、民主主義を破壊する安倍政権による放送法改悪を許さないため、国民もメディアも一緒になってたたかいたが広がることを願っています。



府高退教ツアー 戦跡を訪ねる一泊二日の旅を満喫

芝野 和子(貝塚南)

昨夏、某旅行会社の「星空を見るツアー」に参加した。その時「満蒙開拓平和祈念館」の道路標示を目にした。個人では行きにくい場所に、ガイドさん付きで訪問できる今年のツアーは、私にとって魅力的だった。現職中は、一分会員で、誰のお世話をすることもなく過ごしてきた私だが、厚かましくも今回もお世話になることにした。

早朝の大阪は梅雨曇だったが、昼食を食べる頃には、信州の爽やかな夏空が広がっていた。予定より約1時間遅れて、松代大本営予定地跡へ。天皇の御座所にするつもりで作った部屋（今は気象観測所として使われている）を外から覗く。次に地下壕へ移動。サイパン陥落後、本土決戦を本気で考えて、巨費と人海作戦を駆使して、敗戦までの9ヶ月で10キロ、三つの



松本城で武者と一緒にハイポーズ

山を掘削させた大本営。命を虫けらのように扱い、た。その後、閉館前の旧真無謀な愚かな計画を練った田邸見学。部屋数も多く、長野県に行幸した時、た。長野県に行幸した時、た。「無用の長物」を作ったという県か？」と尋ねたとは、夕食を更に味わい深いという話をガイドさんから聞ものにしてくれた。

交流会の22名の近況報告は、翌日の松本城で時間を使い過ぎて、満蒙開拓平和祈念館のガイドさんのお話を充分聞けなかったことだ。杖をついた年配の方だったので、個人的に伝えたいことがあったのかも知れないと思う。負の記憶を忘れないために、来館者が増えることを望む。何年前、地域の催

して「望郷の鐘―山本慈昭―」という映画を見たり。シベリア抑留から帰国後、住職をしながら、残留孤児の訪日調査を実践させた方だが、その方

モンゴル訪問記 (No.111) 草原の休日

鞍元和子(長尾)・田中繁美(寝屋川)



私たちが滞在したツーリストキャンプはウランバートル郊外にあります。司馬さんの通訳を勤めたツェベクマさんが開き、今はその娘さん夫妻が経営しています。広い草原に点在するゲルに連泊し、自由な時間を満喫しました。昼は様々な体験をしながら疲れたら昼寝。夜は食堂で交流したり、馬頭琴演奏を聴いたり、満天の星を眺めました。

モンゴルと言えばまず草原を馬で駆けるイメージですが、私たち2人は自粛。特に田中は乗馬しないのが家族からの旅行許可条件でしたが、「馬には乗ってません。」と一休庵まがいの屁理屈で「ヤク」体験をしてきました。蒙古馬より背が高い位で始めはおっかなびっくりでしたが、悠々と歩いてくれるので慣れると爽快でした。原住民のゲルも訪問、馬乳酒や干しヨーグルトで歓迎してもらいました。現地ガイドはチンギスと言う名の日本語堪能な好青年。彼は父の好みで大層な名をつけてもらったせいで、社会主義時代に問題視され小学校入学が1年遅れたとか。私たちが高原の花々やゲルをスケッチしていると興味を示し、自分も描いてみたいと言うことで急遽講習会をしました。結構良い画が出来上がり部屋に掛けるのだと喜んでくれました。

その他ポーズ(肉まん)作り、乳搾り、水晶掘り(カケラ拾い?)等の体験の合間、退教「シャンソンを歌う会」メンバーであることも忘れず、草原で気兼ねなく歌の練習もしてきました。

間近で聴くヴァイオリン

升井 久子 (三国定)

久しぶりに聴いた松野迅さんのヴァイオリン。ガット・ネロの狭い会場に満員の客、まるで舞台の上で聴いているような間近さは贅沢そのもの。ヴァイオリンの優しい音色と若いピアニストの爽やかなタッチ、懐かしい歌もあり、心揺さぶられるひとときでした。曲のあい間には、一人一人に話しかけるような松野迅さんの語りで様々な音楽の世界へと導かれました。中で、故小西康英先生から舞台上の所作を教えられた話にはなるほどと頷かされ、能舞台のあった小西先生のお宅を思い起こしていました。

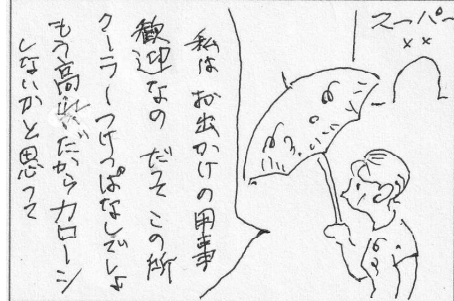
何故かますます忙しくなる毎日、いい音楽を聴く機会もなかなか作れないで来ましたが、やっぱり音楽はいいなあと。音楽に限らず、絵も映画も舞台も、できることなら、残る人生心豊かに過ごしたいものです。



松野迅さんとピアノの榎田まさしさん(後列中央)を囲ん記念撮影。ガット・ネロにて

府高退助氏

門田向日子(布施) NO. 172



当面の日程

【8月】

6日(月) 14:00 謡を楽しむ会
27日(月) 14:00 シャンソンを歌う会

29日(水) 13:30 大退教単位退教代表者会議
30日(木) 13:00 第58回囲碁大会 705室

【9月】

3日(月) 14:00 謡を楽しむ会
10日(月) 14:00 短歌を楽しむ会
14日(金) 14:00 府高退教幹事会
27日(木) 28日全退教近畿ブロック学習交流会 奈良